

出生率と 出生数は？

市長 30年度で出生率は、1.85
出生数は262人。



吉田幸一郎 議員

議員 本市の人口は、若年層の流出を主因に急激な減少が続いている。人口問題研究所の推計によると、2024年の人口は約3万1千人、高齢化率は47%まで上昇するなど、今後も人口減少が続くと予想される。今後人口減少を食い止め、維持可能な地域社会を維持していくために、第一期まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し取り組まれてきたが、成果と課題は何か。

市長 定住移住施策の強化をはじめ、農業や素麺産業等の、地場産業の活

性化といった総合戦略に掲げる施策を進めた結果、移住者の増加などにつながった。しかしながら、農業産出額や素麺出荷額、出生率などの指標は横ばいが続き、最終的な成果とも言える人口減少に歯止めがかかっていない状況である。

議員 他市にない本市特有の有利な子育て施策は。 **福祉保健部長** 保育料等の経済的負担の軽減と併せて、一番特徴的なのは、子供さんを授かりたくても授けられない方に対しての特定不妊治療や不育治療、そういう全ての部分

に補助しているのは、県内では、本市だけではないかと思う。 **教育次長** 子育てに温かい社会づくりの担い手の育成や、子供の成長段階に応じた伴走型教育支援プログラムの学習機会の提供、結婚、妊娠、出産、乳児期を中心とする支援体制づくりなどの取組を実施している。

議員 そのような情報を外に発信していくことは必要である。移住定住策は何を行い実績はどうか。 **地域振興部長** 移住相談会を首都圏で行っている。空き家バンク、移住体験ツアー、お試し住宅の体験、出合いの場コーディネート事業、結婚新生活支援事業等に取り組んでいる。成果として29年度11名、30年度29名、本年度は12月現在で68名が移住している。



その他質問
・島原深江道路高架下の除草について
・漁業振興について

質問の様子を動画で見よう



作業部会等への出席業者が入 札に参加する事に、選考委員 会で異論はなかったのか

副市長 特に異論はなかった。



田中次廣 議員

給食センター建設に伴う 厨房機器の入札について

議員 作業部会（基本設計作成前に、基礎となる打ち合わせの機関）が8回、協議会が3回開催されているが、この全ての会合に参加した業者が今回落札しているが、どのように考えるのか。 **副市長** 予算や設計の金額についてはタッチされておらず、機種の選定について意見を求められ、答えたと聞いている。

議員 作業部会、協議会に、設計業者の協力業者として参加している。こ

れは設計業者のアドバイザー的役割で、基本設計、実施設計に参与しており、入札の情報を独占できる立場にあり、このことは入札の公平性が図られず、競争入札を阻害するものだと思う。一般論から見ると、公平な入札が行われなかったと言えるのではないかと。それから、設計書の中の特記仕様書の機器使用共通事項には、落札した業者の取り扱いの製品の型式を計上しているのではとこのことを聞くが事実なのか。

教育次長 落札をした業者は製造業者ではなく、製造メーカーから製品の委託を受けて販売をしている。製造番号が入った製品というのではない。 **議員** 入札に参加されたある業者は、落札した業者の取り扱い製品が設計書の中に記載があり、その製品でないと調理場に収まらないとのこと

を聞く。これが事実とすると、特定の業者が優位な立場になり公平が排除された状態で入札が行われ、その結果、過大な金額で市と契約することになるが。 **教育次長** 参加の全ての業者が落札することは可能であり公平な入札が行われたと考えている。

議員 入札が公平に行われたか、調査をされることを求める。

その他質問
・世界遺産を活用したまちづくりについて



口之津学校給食センター

質問の様子を動画で見よう

